

研修名 保育実践（音楽あそび）

平成30年10月12日（金） 13：30～16：00

講演・意見交流会 「楽しい音楽あそび」

講師 今里こども園 笠置 英恵 氏

1 講演要旨

1) 音楽あそびの目的

- ① 楽しい場の提供②子どもの発達段階に応じた機能・意識の向上を計る③クラスの中で基本的な集団スキルの向上を計る
・自発性を促し、意欲の向上を計り、自己表現を促進させることも大切

2) 発達段階に応じた課題

- ① 前庭感覚の発達→感覚と運動の統合②触感刺激の受容③聴覚（音源の探索）④視覚（追視・注視）⑤始終点がわかる⑥模倣（知覚・視聴覚・運動・理解・認識・記憶）
⑦自己表現：小さな表現をくみ取り他者へ伝える手段の習得

3) 微細運動（手と腕の動き）粗大運動（平衡・移動）

- ①姿勢の保持②身体のバランス③物の操作（楽器の演奏）④行動調整（活動に沿う）⑤順番⑥簡単なルールの理解⑦役割の理解・子ども同士の関係

4) 楽しい活動を提供するためのポイント

- ①活動内容
・子どもの発達に適したもの・子どもの関心をひくもの
- ② 音楽の使い方の工夫
・選曲・演奏の形態・伴奏・テンポ・リズム・音響・音質

5) 保育者の姿勢・配慮

- ① 言葉使い②声の調子・大きさ③表情・姿勢・雰囲気④子どもとの距離・位置⑤タイミング⑥臨機応変な対応

6) 活動の組み立て方

- ①枠組みのゆるい自由な活動⇔枠組みのしっかりした活動②動的な活動⇔静的な活動
③グループ単位の活動⇔個人単位の活動
・どういう順番で行うのが効果的か、年齢やクラスの構成人数、何回目のセッションか

7) 活動内容

①あいさつ（始まりのうた）

〈目的〉活動の始まりの合図・その日の様子を知る、課題を含むこともある。

〈方法〉一人ひとりの子どものように語りかけるように歌う。手を取るなどのスキンシップ。
タンバリンを叩くボールでのやりとりなど。

〈注意〉子どもの受け入れやすいやり方・テンポ

② 遊び歌（Learning Song）

〈目的〉認知・運動の課題を含む・人とのやりとりを促す

〈方法〉既成の手遊び歌などを子どもに合わせてアレンジする。動作をつける。

〈例〉BBB（あいうえおの歌）、何人いるかな、同じものはどれ？

③ 楽器を使った活動

〈目的〉自発性・楽器の操作・行動調整・集中して聴く

〈音楽〉始点と終点がわかりやすいもの。楽器を鳴らしやすい工夫。曲の途中で終わる。曲を変えるなどして聴く力を養う。テンポの調整。

〈注意〉子どもの自発性を妨げない。援助しすぎない。楽器は大切に扱うが操作方法を押し付けない。

④ 体を使った活動

〈目的〉粗大運動・物の操作・人との関わり・自発性・簡単なルールの理解・模倣・表現

〈方法〉小道具（布など）を使うこともある。何かに見立てたりイメージを持てるような言葉かけ。

〈注意〉曲のテンポ・間の取り方・小道具の扱い

⑤ 終わりの歌

〈目的〉活動の終わりの合図・クールダウン

〈方法〉クイズ形式で子どもが考えたり、イメージが持てるような問いかけをする。発達段階に合わせて見せ方、考え方を工夫する。

〈注意〉リズムやテンポ、緩急の工夫

9) 年齢や月齢に合わせて言葉を使ってイメージできるような活動も入れる。

① 2つの音の言葉・3つの音の言葉②反対言葉 スタレのうた

2 感想

今回の保育実践の研修に参加させていただき、改めて音楽あそびのやり方について学び、何よりも大事なことは、実践する保育者が楽しまないといけないということを実感しました。

実際に楽器を使っての実践をしたり、手遊びをしたり、声を出したり、体を動かした遊びを教えていただき、子どもがわかりやすいやり方や、テンポ等とても勉強になりました。

音楽あそびをするうえで、子どもが自分で進んでしようとする気持ちを大切にし、援助しすぎたり、押し付けたりすることがないように注意しながら、普段の保育の中でも活用していこうと思います。

（記録 吉津保育園 島田文子）